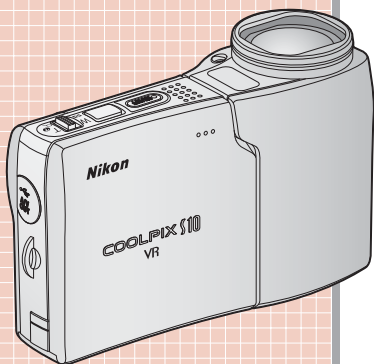
ニコンデジタルカメラ

COOLPIX S10

クールピクス S10

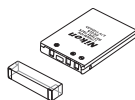
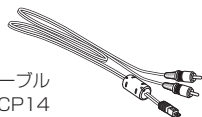
簡単操作ガイド

箱の中身を確認しよう

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S10 をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、本紙および使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

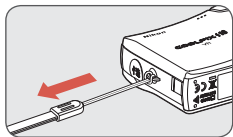
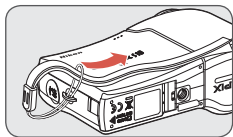
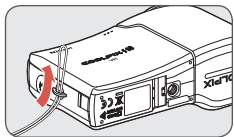
箱の中身を確認する

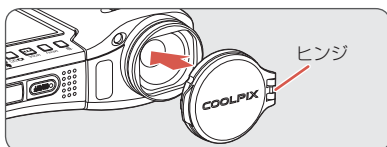
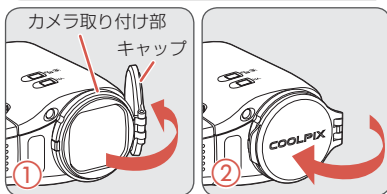
カメラと付属品を取り出し、以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。

※ **SD メモリーカード（以下 SD カードと表記します）は、付属していません。**使用説明書 112 ページに記載の推奨 SD カードをお使いください。

- 簡単操作ガイド（本書）
- 使用説明書
- 保証書
- カスタマー登録カード
- PictureProject ソフトウェア CD-ROM（黄色）
- PictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM（銀色）

付属のバッテリーはフル充電されていません。P.6 の「バッテリーを充電する」をよく読んで、バッテリーを充電してください。

ストラップを取り付ける

下図のようにして、ストラップをカメラのストラップ取り付け部に取り付けます。

レンズキャップを取り付ける

下図のようにして、レンズキャップをカメラに取り付けます。

- レンズキャップのヒンジの部分を外側にして、カチッと音がするまでしっかりと装着します。

- レンズキャップのカメラ取り付け部をカメラ本体に装着したまま、キャップ部分を開けたり（①）、閉じたり（②）することができます。

カスタマー登録のご案内

PictureProject のインストール前または後に、［Welcome］ウィンドウで［カスタマー登録］ボタンをクリックすると、インターネットを通じてカスタマー登録を簡単に行うことができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。製品の最新情報や便利な情報を満載したメールマガジンの配信も同時にお申し込みいただけますので、ぜひご利用ください（登録時に必要な商品 ID は、付属のカスタマー登録カードに記載されています）。

各部の名称

シャッターボタン（P.13）
電源スイッチ（P.8）
電源ランプ（P.8）
ズームレバー（P.12）
（:サムネイル表示［P.14］）
（：拡大［P.14］）
（：ヘルプ）
スピーカー
（フェイスクリアー）ボタン（P.20）
（：D-ライティング［P.14］）
手ブレ補正（VR）ボタン
（P.11）
レンズ（P.12）
ストラップ
取り付け部
（P.3）
Nikon
COOLPIX S10
VR
マイク
パワーコネクターカバー
（別売の AC アダプターキット
接続時に使用）
内蔵フラッシュ
（P.16）
セルフタイマーランプ
（AF 補助光）
レンズ部収納時

MENU（メニュー）ボタン

m（モード）ボタン（P.17）

（撮影 / 再生切り換え）ボタン（P.14）

（削除）ボタン（P.15）

フラッシュランプ（P.13）

OK（決定）ボタン（P.5）（：転送）

マルチセレクター（P.5）

液晶モニター（P.10）

ケーブル接続端子カバー

三脚ネジ穴

ケーブル接続端子（P.27、29）

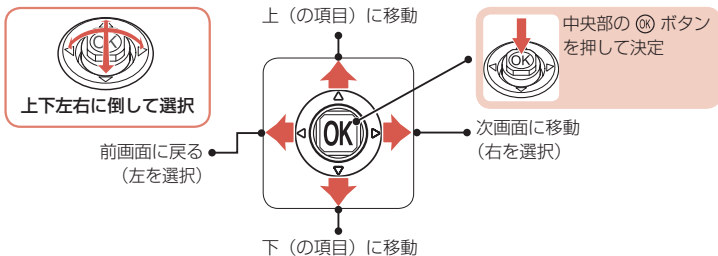
SD カードスロット

バッテリーロックレバー（P.7）

バッテリー室（P.7）

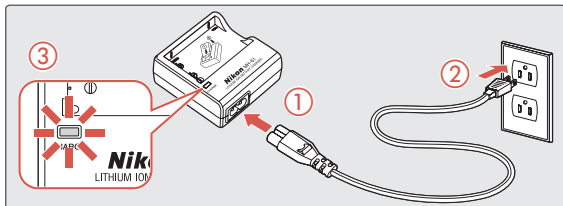
バッテリー /SD カードカバー（P.7）

マルチセレクターの使い方

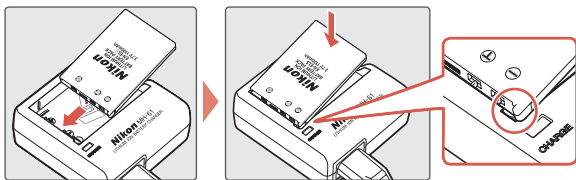
言語、日時を設定したり、メニューで設定を変えたいときは、マルチセレクターを使います。
上下左右に倒して項目を選び、中央の OK ボタンを押して決定します。
設定を無効にして前画面に戻る時には**左**に倒します。

撮影の準備をしよう

Step 1 バッテリーを充電する

ご購入直後や、付属の Li-ion リチャージャブルバッテリーの残量が少なくなったときは、付属の専用バッテリーチャージャー（充電器）MH-61 でバッテリーを充電してください。

1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

正しく接続すると、バッテリーチャージャーの CHARGE ランプが点灯します。

2 付属の Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 の端子カバーを外して、バッテリーチャージャーにセットする

バッテリーの突起部をバッテリーチャージャーの凹部に合わせてセットしてください。

3 充電が始まる

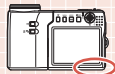
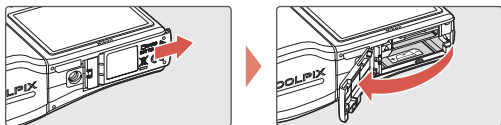
充電中は、CHARGE ランプが点滅します。

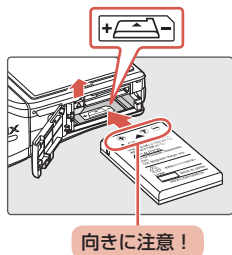
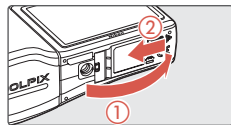
残量のないバッテリーの場合、充電には約 2 時間かかります。

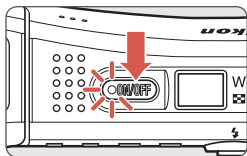
4 充電が終わる

CHARGE ランプが点滅から点灯に変わったら、充電完了です。
バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

Step 2 バッテリーを入れる

付属の専用バッテリーチャージャー MH-61 で充電した Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をカメラに入れます。

1 バッテリー /SD カードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。**バッテリーの向きを間違えて入れると、カメラが破損するおそれがあります。**
- バッテリーは、オレンジ色のバッテリーロックレバーを押し上げながら差し込んでください。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

3 バッテリー /SD カードカバーを閉じる

Step 3 電源を ON にする

電源スイッチを押して、電源を ON にします。

節電機能について

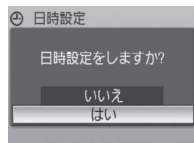
- 撮影時に、カメラを操作しない状態が約５秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。
- カメラを操作しない状態が約１分続くと、液晶モニターが自動的に消灯し、さらに無操作のまま３分経過すると、電源が自動的に OFF になります（オートパワーオフ機能）。

Step 4 言語と日時を設定する

はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が表示されます。以下の手順で設定してください。

1

表示言語を選ぶ

2

［日時設定］画面に移る

3

［ワールドタイム］画面に移る

夏時間（サマータイム）制が実施されている地域でお使いになる場合は、次のページの「夏時間の設定について」をご覧ください。

4

［自宅の設定］画面に移る

自宅のある地域を選んで ㉄ ボタンを押す

6

［日時設定］画面で［年］を合わせる

7

［月］の設定に移る

以下、ステップ **6**、**7** と同様の手順で、分単位まで日付と時刻を合わせてください。

8

［年月日］の表示順の設定に移る

［年月日］の部分が点滅します。

9

［年月日］の表示順を選ぶ

10

設定した日時になる

夏時間の設定について

サマータイム（夏時間）制が実施されている地域でお使いになる場合は、前ページの **3** の画面で、

①マルチセレクターを**下**に倒して［夏時間］を選ぶ

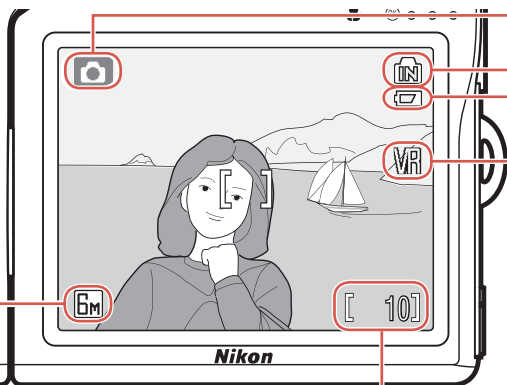
② ㉄ ボタンを押し、［夏時間］の前にあるチェックボックスをオン ☑ にする

③マルチセレクターを**左右**に倒して、地域名（ステップ **3** の画面で［Tokyo, Seoul］）が選ばれている状態に戻る

の手順で操作を行ってから、ステップ **4** へお進みください。これによって夏時間が有効になり、時刻が 1 時間進みます。

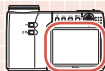
液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

Step 1 モニター表示を確認する

液晶モニターに表示されるアイコンなどによって、バッテリー残量や記録可能コマ数、現在の画像モード、撮影モードなどが確認できます。

記録可能コマ数

画像モード 使用説明書 86 ページ

現在の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）が確認できます。

6M★	高画質（2816★）	［標準］よりも精細な画像になります。
6M	標準（2816）	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。
3M	エコノミー（2048）	［標準］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。
PC	パソコン（1024）	パソコンのモニターに表示する場合に適しています。
TV	TV（640）	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。

撮影モード

使用説明書 11、28、37、48 ページ

現在の撮影モードが確認できます。簡単操作ガイドでは、（オート撮影）モードで撮影する場合について説明します。他の撮影モードに切り換えるには、m ボタンを押して、撮影モード選択画面から撮影モードを選んでください（P.17）。

画像の記録先

画像の記録先が表示されます。

IN	画像は内蔵メモリーに記録されます。
	画像は SD カードに記録されます。

撮影した画像の記録先について

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 16MB）または市販の SD カードのどちらかに記録することができます。簡単操作ガイドでは、内蔵メモリーを使う場合について説明します。SD カードをお使いになる場合は、使用説明書の 18 ページをご覧ください。

バッテリーチェック

バッテリー残量の状況が表示されます。

表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
（点灯）	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

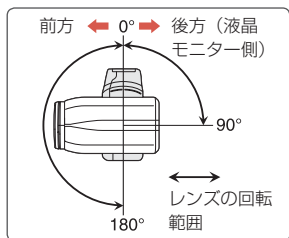
※ バッテリーの充電や交換の方法については、P.6 ～ 7 をご覧ください。

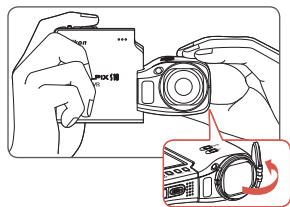
手ブレ補正（VR）モード

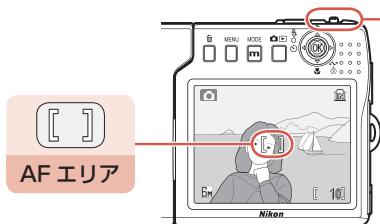
使用説明書 34 ページ

カメラが揺れを自動的に検知して手ブレの影響を自動的に軽減します。

Step 2 レンズの向きを決める

- レンズ部は、液晶モニターのある面を撮影者側にした場合、前方に最大約 180°まで、後方（撮影者側）に最大約 90°まで回転します。
- レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください。

Step 3 カメラをしっかりと構える

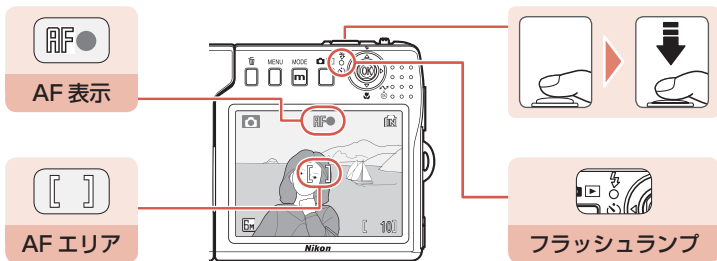
- カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- レンズキャップを装着している場合は、キャップ部分がレンズにかかっていないことを確認してください。

Step 4 ズームを使う

- 写したいもの（被写体）を、画面中央の AF エリアに重なるようにとらえてください。
- ズームレバーを使うと、被写体の大きさを変更することができます。

ズームレバー

広い範囲を写したいときは **W** 方向に、被写体を大きく写したいときは **T** 方向に倒してください。

Step 5 ピントを合わせて撮影する

1 ピントを合わせる

- シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めてください（これを“半押し”といいます）。シャッターボタンを半押しすると、画面中央の AF エリアに重なっている被写体にピントと露出が合います。
- 半押しを続けている間、ピントと露出は固定されます。

シャッターボタンを半押しすると、ピントやフラッシュの状態を確認できます。

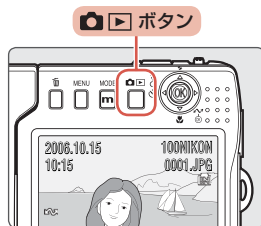
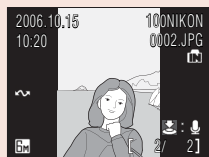
AF 表示	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	赤色点滅	被写体にピントが合っていません。構図を変えて、もう一度ピントを合わせてください。
フラッシュランプ	赤色点灯	シャッターボタンを押し込むと、フラッシュが発光します。
	赤色点滅	フラッシュの充電中です。
	消灯	フラッシュは発光しません。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押し）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がブレる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

撮影した画像を確認する

使用説明書 58 ページ

撮影時に 📷▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示される再生モードになります。

カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、自動的に回転して表示されます。

再生モードでは、以下の操作ができます。

次の画像を見る / 前の画像を見る	OK / OK
画像を削除する	🗑 ボタン
画像を拡大表示する	ズームレバーを **T**（🔍）方向に倒す
サムネイル表示モードに切り換える	ズームレバーを **W**（▦）方向に倒す
再生モードメニューを表示する	m ボタン
再生メニューを表示する	MENU ボタン
音声メモを録音 / 再生する	シャッターボタン
暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）	ボタン
動画表示時：動画を再生する	OK ボタン

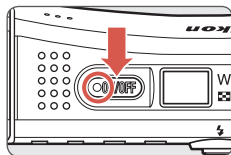
📷▶ ボタンをもう一度押すと、再び撮影できるようになります。

不要な画像を削除するには

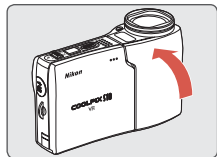
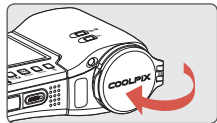
画像が表示されているときに 🗑 ボタンを押します。

- 削除確認画面が表示されます。マルチセレクターを下に倒して［はい］を選び、Ⓞ ボタンを押すと、その画像は削除されます。
- 削除するのをやめたいときは、［いいえ］を選んで Ⓞ ボタンを教えください。

Step 7 電源を OFF にする

- 電源スイッチを押してください。
- 電源が OFF になると、電源ランプが消灯します。

撮影を終了するときは

撮影を終了するときは、電源を OFF にした後、

1 レンズ部を回転させて図のように収納してください。

2 レンズキャップを取り付けている場合は、図のようにキャップ部分を閉じます。

フラッシュ、セルフタイマー、マクロ（接写）モードを使う

撮影時にマルチセレクターを**上**、**左**、**下**に倒すと、それぞれ［フラッシュ］、［セルフタイマー］、［マクロモード］の各リストが表示されます。各モードを変更する場合は、マルチセレクターを**上下**に倒してモードを選択し、Ⓚ ボタンを押してください。

フラッシュ

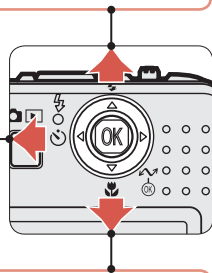
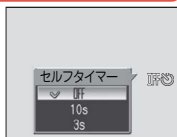
使用説明書 30 ページ

撮影状況に合わせて、フラッシュモードを以下の５種類から選択できます。

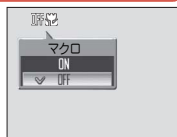
AUTO	自動発光	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目軽減自動発光	人物の目が赤く写る［赤目現象］を軽減できます。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ	夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

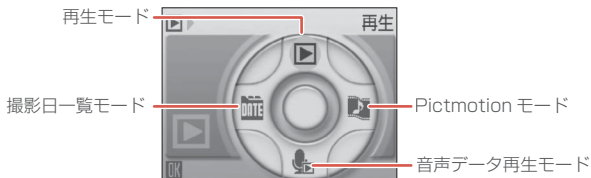
セルフタイマー

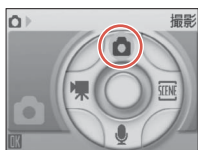
使用説明書 32 ページ

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、撮影時の手ブレを軽減したいときに使います。タイマー時間は１０秒と３秒の二種類から選択できます。セルフタイマー撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

マクロモード

使用説明書 33 ページ

最短 4cm まで近づいて被写体に撮影することができます。
マークが緑色で表示されているとき、レンズ前約 4cm の被写体にピントを合わせることができます。

m（モード）ボタンの使い方

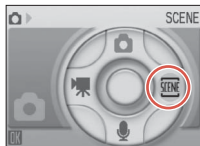
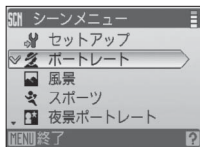
撮影時や再生時に m ボタンを押すと、以下のようなモードメニューが表示されます。このモードメニューを使って、カメラの様々な機能を切り換えます。

モード選択画面の操作

マルチセレクターを**上下左右**に倒して項目を選び、Ⓚ ボタンを押して次の画面に進みます。

モードを選ぶ

選んだモードに切り替わる

シーンに合わせて撮影する

撮影シーンが決まっているときは、シーンに合わせて 15 種類のモードから選ぶだけの簡単な操作で、より美しく撮影できます。

撮影時に m ボタンを押し、SCENE（シーンモード）を選んで OK ボタンを押すと、シーンモードに切り替わります。

シーンモードで、MENU ボタンを押すと、右のようなシーンモードのメニューが表示され、アシスト機能付きシーンモードとシーンモードを選ぶことができます。

アシスト機能付きシーンモード

使用説明書 39 ページ

構図を決めるためのガイド線が画面に表示されるなど、撮影をお手伝いする「アシスト機能」が充実したモードです。

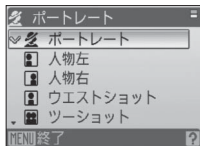
アシスト機能付きシーンモードに変えたいときは、MENU ボタンを押し、シーンメニューからアシスト機能付きシーンモードを選んでください。

アシスト機能付きシーンモードには以下のようなモードがあります。

モード	説明
ポートレート	人物を美しく撮影したいときに使います。
風景	自然の風景や街並みなどを色鮮やかに撮影したいときや、風景を背景にした人物撮影に使います。
スポーツ	運動会などのスポーツ写真を撮影するときに使います。
夜景ポートレート	夕景や夜景を背景に人物を撮影するときに使います。

アシスト機能付きシーンモードを選んで OK ボタンを押すと、右のようなアシスト機能のメニューが表示されます。アシスト機能を選んでから OK ボタンを押すと、選択したアシストモードに切り替わります。

シーンモード

使用説明書 42 ページ

撮影シーンを選んでシャッターボタンを押すだけで、簡単に美しい画像が撮影できるモードです。

シーンモードを切り換えたいときは、シーンメニューからシーンモードを選んでください。シーンモードを選んでから ㊿ ボタンを押すと、選択したシーンモードに切り替わります。

シーンモードには以下のようなモードがあります。

モード	説明
パーティー	パーティー会場などでの撮影に使います。
海・雪	晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
夕焼け	夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
トワイライト	夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
夜景	夜景の撮影に使います。
クローズアップ	草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。
ミュージアム	フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。
打ち上げ花火	打ち上げ花火をスローシャッターで撮影するときに使います。
モノクロコピー	ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。
逆光	逆光状態での撮影に使います。
パノラマアシスト	複数の画像をつなげてパノラマ写真を合成したいときに使います。

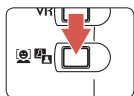
人物をきれいに撮る—フェイスクリアーモード

使用説明書 35 ページ

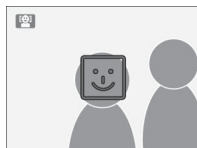
撮影時に [顔] ボタンを押すと、人物撮影に最適な［フェイスクリアーモード］になります。フェイスクリアーモードでは、

- 人物を浮き立たせて立体感のある画像になります。
- 人物の顔に自動的にピントを合わせる［顔認識 AF］と、フラッシュによる赤目現象を軽減する［赤目軽減自動発光］（P.16）が自動的に ON になります。マクロモードは OFF に固定されます。

もう一度 [顔] ボタンを押すと、直前の撮影モードに戻ります。

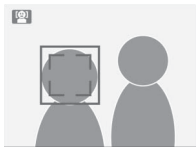
1

[顔] ボタンを押す

黄色の [☺] マークが表示されます。

2

[☺] マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

カメラが顔を認識すると、[☺] マークが黄色の二重枠に変わります。※

※ 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。この場合、二重枠で囲まれた人の顔にピントと露出が合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失った場合は、枠が消えてステップ **2** の状態に戻ります。

3

シャッターボタンを半押しする

ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4

そのまま全押しして撮影する

PictureProjectをインストールしよう

PictureProject のご案内

付属のソフトウェア PictureProject（ピクチャープロジェクト）をパソコンにインストールすると、撮影した画像をパソコンに転送して、画像の整理や編集を簡単に行うことができます。詳しくは PictureProject の使用説明書（銀色の CD-ROM）をご覧ください。

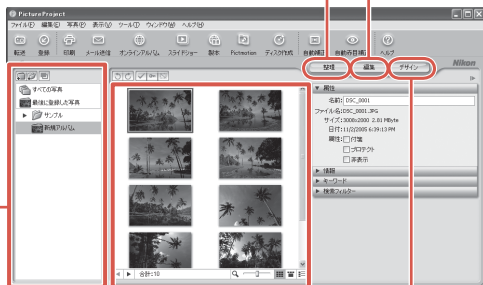
PictureProject の主な機能は、以下のとおりです。

整理モード：写真を表示したり、整理することができます。

編集モード：写真の明るさや色合いを補正したり、不要な部分を切り落とすこと（トリミング）ができます。

アルバム一覧：写真を登録したフォルダやアルバムが表示されます。

写真表示エリア：フォルダやアルバム内の写真が表示されます。

デザインモード：写真をいろいろなレイアウトに並べ換えることができます。

ほかにも以下のような機能があります。

- 写真を印刷する
- 写真付きメールを送る
- スライドショーで写真を見る
- 写真を CD や DVD に保存する

このガイドでは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルについて、PictureProject 登録前には「画像」、登録後には「写真」と表記しています。

画面は Windows XP の場合のものです。表示される画面やインストール時の動作は PictureProject のバージョンによって異なる場合があります。

インストールの前にご確認ください

PictureProject の動作環境

Windows	
CPU	Pentium 300MHz相当以上（Pictmotion機能はPentium III 550MHz相当以上）
OS	Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、（すべてプリインストールされているモデルに対応）
ハードディスク	インストール時：60MB 以上の空き容量
メモリー（RAM）	64MB（Pictmotion 機能は 128MB）以上の空きメモリー
モニター解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー（High Color）以上
その他	USB ポートが標準装備されているモデルに対応

Macintosh	
CPU	PowerPC G4、G5
OS	Mac OS X（Version 10.3.9 以降）
ハードディスク	インストール時：60MB 以上の空き容量
メモリー（RAM）	64MB 以上の空きメモリー
モニター解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー（High Color）以上
その他	USB ポートが標準装備されているモデルに対応

対応 OS の最新情報に関しては、下記のホームページのサポート情報をご覧下さい。
http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

PictureProject の使用説明書を見るには

PictureProject の使用説明書は、銀色の CD-ROM に収録されています。PictureProject の操作方法や詳しいインストール方法については、PictureProject の使用説明書をご覧ください（PictureProject の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader 4.0 以降が必要です）。

1 パソコンの CD-ROM ドライブに、CD-ROM を入れる

2 [Nikon] フォルダを開く
- **Windows の場合**：[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、その中の CD-ROM ドライブ（Nikon）をダブルクリックすると、[Nikon] フォルダが開きます。
- **Macintosh の場合**：デスクトップ上の CD-ROM（Nikon）をダブルクリックすると、[Nikon] フォルダが開きます。

3 [Nikon] フォルダ内の [INDEX.pdf] アイコンをダブルクリックする
はじめに表示される画面で表示言語を選ぶ（クリックする）と、使用説明書の目次（INDEX）が表示されます。それぞれの見出しをクリックすると、その項目についての説明が表示されます。

PictureProject をインストールしよう

注意

PictureProject をインストールする前に

- ウイルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

PictureProject をお使いになるときは（インストール / アンインストールを含む）

- 「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition/ Professional）、または「Administrators」アカウント（Windows 2000 Professional）、「管理者」アカウント（Mac OS X）でログインしてください。

1 パソコンを起動し、PictureProject ソフトウェア CD-ROM（黄色の CD-ROM）を CD-ROM ドライブに入れる

- **Windows の場合**

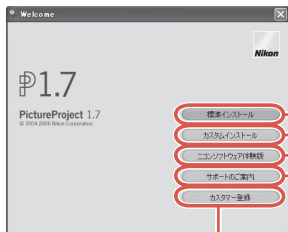
  次ページのステップ **2** の［Welcome］ウィンドウが自動的に開きます。

［Welcome］ウィンドウが自動的に開かない場合

［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選んで（Windows 2000 の場合は、デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックして）、マイコンピュータウィンドウを開き、その中の CD-ROM（PictureProject）アイコンをダブルクリックしてください。

- **Macintosh の場合**

  デスクトップの CD-ROM（PictureProject）アイコンをダブルクリックし、開いたフォルダ内の［Welcome］アイコンをダブルクリックします。

2 [標準インストール] をクリックする

標準インストール：PictureProject と PictureProject に必要なソフトウェアをインストールします。

カスタムインストール：必要に応じてインストールするソフトウェアを選択できます。

ニコンソフトウェア体験版※：ニコンの別売ソフトウェアの体験版がダウンロードできます。

サポートのご案内※：サポートのご案内や、[お読みください] を参照できます。

カスタマー登録※：ご購入製品のカスタマー登録ができます (P.3)。

※ [ニコンソフトウェア体験版]、[サポートのご案内] および [カスタマー登録] には、インターネットに接続できる環境が必要となります。

Windows XP をお使いの方は

続いて PTP ドライバーのインストールが始まります。画面の指示にしたがって PTP ドライバーをインストールしてください (お使いの Windows XP のバージョンによっては、Windows XP セットアップウィザードが起動する場合があります)。

3 [Panorama Maker] をインストールする

画面の指示にしたがってインストールしてください。

4 [Apple QuickTime] をインストールする

[はい] をクリックしてください。お使いのパソコンによっては、QuickTime のインストールに時間がかかる場合があります。

Macintosh をお使いの方は

ご使用のパソコンにインストールされている QuickTime が古いバージョンの場合は、次ページのステップ **8** で PictureProject のインストールが終了した後に QuickTime のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールしてください。

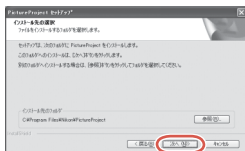
5 管理者の [名前] と [パスワード] を入力する (Macintosh のみ)

管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
Windows をお使いの方は、ステップ **6** にお進みください。

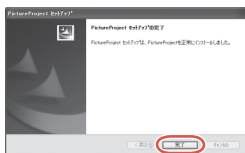
6 PictureProject の使用許諾契約を確認する

［使用許諾契約］の内容をよくお読みの上、［はい］（Windows）または［同意する］（Macintosh）をクリックしてください。

7 PictureProject をインストールする

［次へ］（Windows）または［インストール］（Macintosh）をクリックし、画面の指示にしたがって PictureProject をインストールしてください。

8 インストールを終了する

［完了］（Windows）または［終了］（Macintosh）をクリックし、画面の指示にしたがって［Welcome］ウィンドウを閉じてください。

※ パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

DirectX のインストール（Windows のみ）

お使いのパソコンに DirectX 9 がインストールされていない場合は、続いて DirectX 9 のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールしてください。

9 ［登録アシスタント］が自動的に起動する

登録アシスタントは、すでにパソコンに保存されている画像を、PictureProject で表示できるように登録する機能です。カメラで撮影した画像をすぐに PictureProject で転送したい場合は、［閉じる］をクリックして登録アシスタントを終了してください。

PictureProject への画像の登録は後からでもできます。

10 パソコンの CD-ROM ドライブから PictureProject ソフトウェア CD-ROM を取り出す

これでインストールは完了です。「画像をパソコンで見てみよう」（P.26）にお進みください。

画像をパソコンで見てみよう

撮影した画像をパソコンに転送してみましょう。カメラをパソコンに接続する前に、以下の点についてご確認ください。

カメラをパソコンに接続するときは

カメラをパソコンに接続する前に、必ず PictureProject をインストールしてください（PictureProject のインストールについては P.22 ～ 25 をお読みください）。インストール前に接続して［新しいデバイスの検出］が起動した場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてウィザードを終了してください。

画像転送時の電源について

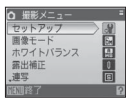
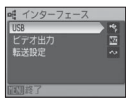
途中でバッテリーが切れることがないよう、フル充電されたバッテリーまたは別売の AC アダプターキット EH-62A をお使いいただくことをおすすめします。その他の AC アダプターは絶対にお使いにならないでください。

Windows 2000 Professional をお使いの方は

カメラをパソコンに接続する前に、必ず以下の手順でセットアップメニューの［インターフェース］→［USB］を［Mass Storage］に変更してください。初期設定の［PTP］では、転送できません。

1 撮影時に **MENU** ボタンを押して、撮影メニューを表示する

2 ［セットアップ］を選び、Ⓞⓚ ボタンを押す

3 ［インターフェース］を選び、Ⓞⓚ ボタンを押す

4 ［USB］を選び、Ⓞⓚ ボタンを押す

5 ［Mass Storage］を選び、Ⓞⓚ ボタンを押す

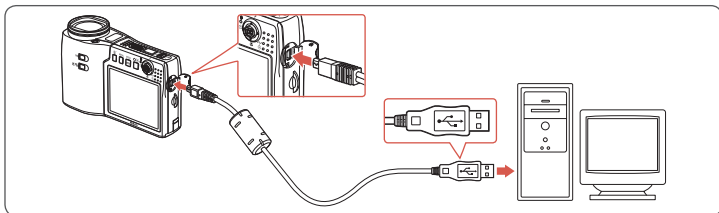
撮影した画像をパソコンに転送する

使用説明書 75 ページ

撮影した画像をパソコンに転送して保存するには、以下の手順で行ってください。

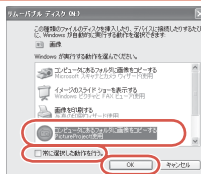
1 カメラの電源を OFF にする

2 カメラと起動済みのパソコンを付属の USB ケーブルで接続する

USB ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。なお、USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

3 カメラの電源を ON にする

パソコンがカメラを自動的に認識して、パソコンの画面に [PictureProject Transfer] が表示されます。[転送] ボタンをクリックすると、内蔵メモリーに記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。

Windows XP をお使いの方は

カメラの電源を ON にすると、右のような画面が表示されます。
[コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする(PictureProject 使用)] を選んで [OK] ボタンをクリックすると、PictureProject が起動します。
常に PictureProjectTransfer の [転送] ボタンで画像を転送する場合は、[常に選択した動作を行う] にチェックを入れることをおすすめします。

4 PictureProject で画像を確認する

画像の転送が完了すると、PictureProject に自動的に画像が登録され、PictureProject が起動します。

※ インターネットに接続したパソコンで PictureProject を起動すると、ソフトウェアのバージョンアップをお知らせする画面が表示される場合があります。画面の指示にしたがってバージョンアップを行い、常に最新バージョンの PictureProject をお使いいただくことをおすすめします。

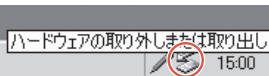
カメラとパソコンの接続を外すには

Windows XP、Mac OS X をお使いの場合

カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

Windows 2000 Professional をお使いの場合

USB ケーブルを抜いたりカメラの電源を OFF にする前に必ず以下の操作をしてください。

パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、［USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します］を選んでください。

※［ドライブ（E:)］の E はお使いのパソコンによって異なります。

カメラとプリンターを接続する

使用説明書 79 ページ

PictBridge 対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントすることができます（ダイレクトプリント）。

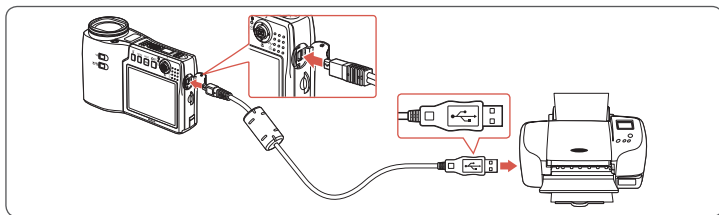
1 カメラの電源を OFF にする

ダイレクトプリント時のご注意

必ずセットアップメニューの［インターフェース］→［USB］（P.26）を初期設定の［PTP］にしてください。

プリント時の電源について

途中でバッテリーが切れることがないよう、フル充電されたバッテリーまたは別売の AC アダプターキット EH-62A をお使いいただくことをおすすめします。その他の AC アダプターは絶対にお使いにならないでください。

2 プリンターの電源を ON にし、付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを下図のように接続する

3 カメラの電源を ON にする

正しく接続されていれば、カメラの液晶モニターに ① の画面が表示された後、ダイレクトプリントのトップ画面（②）が表示されます。

①
②

1 コマだけプリントする

使用説明書 81 ページ

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.29)、以下の手順でプリントしてください。

1

プリントしたい画像を選ぶ

※ ズームレバーを **W** (　) 方向に倒し、6 コマ表示に切り換えて画像を選ぶこともできます。**T** (　) 方向に倒すと、1 コマ表示に戻ります。

2

[PictBridge] 画面に移る

3

プリント枚数や用紙サイズを設定する

下記の項目を選んで Ⓚ ボタンを押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント枚数設定	プリント枚数を設定します (9 枚まで)。 Ⓚ ボタンを押すとステップ **2** の [PictBridge] 画面に戻ります。
用紙設定	プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリントする用紙のサイズを選択してください。プリンターの設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選んでください。 Ⓚ ボタンを押すとステップ **2** の [PictBridge] 画面に戻ります。

4

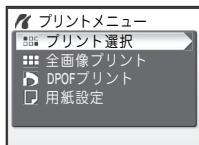
[プリント実行] を選択し、Ⓚ ボタンを押す

プリントが実行されます。途中でプリントを中止したいときは、Ⓚ ボタンを押してください。

複数の画像をプリントする

使用説明書 82 ページ

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（P.29）、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面で MENU ボタンを押す

［プリントメニュー］画面が表示されます。

2

プリントする用紙サイズを設定する

［用紙設定］を選んで、Ⓚ ボタンを押してください。プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリントする用紙のサイズを選び、Ⓚ ボタンを押すと、ステップ 1 の［プリントメニュー］画面に戻ります。プリンターの設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでください。

3

プリント方法を選んでプリントする

プリント方法を選びます。各項目を選んで Ⓚ ボタンを押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント選択	画像とプリント枚数を選んでプリントします。 • マルチセレクターを**左右**に倒して画像を選び、**上下**に倒してプリント枚数（9 枚まで）を設定します。プリントされる画像には、🖶 マークとプリント枚数が表示されます。 • Ⓚ ボタンを押すと選択した画像がプリントされます。画像を選び直したいときは、**MENU** ボタンを押してください。
全画像プリント	すべての画像が 1 枚ずつプリントされます。
DPOF プリント	再生メニューの［プリント指定］で指定された画像がプリントされます。詳しくは使用説明書の 83 ページをご覧ください。

カメラや PictureProject のさらに詳しい説明については、それぞれの使用説明書をご覧ください。

COOLPIX S10 は、こんなこともできます！

ピクトモーション Pictmotion by muvee

撮影した画像をつなげ、お好みの画像切り換え効果や BGM にのせて、楽しく再生します。

使用説明書 67 ページ

動画

音声付きの動画撮影が気軽に楽しめます。

使用説明書 48 ページ

撮影日一覧表示機能

特定の日付に撮影した画像を簡単に再生できます。

使用説明書 64 ページ

D - ライティング

逆光などで被写体が暗く写ってしまっても、撮影後に暗い部分だけを明るく補正できます。

使用説明書 62 ページ

手ブレ補正（VR）

撮影時の手ブレの影響を軽減します。

使用説明書 34 ページ

光学 10 倍ズーム

レンズが飛び出さない高倍率光学 10 倍ズームで、人物から風景まで幅広く撮影できます。

使用説明書 23 ページ

270° スイバルデザイン

ハイアングル、ローアングル、セルフポートレートなど、さまざまなポジションでモニター画面を見ながら撮影できます。

インターネットをご利用の方へ

- デジタルカメラなどのカメラ製品の情報やオンラインアルバム、オンラインショッピングなど、デジタルカメラと写真の楽しみを広げるホームページです。
  http://www.nikon-image.com
- 対応 OS の最新情報、ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報は下記アドレスでご案内しています。
  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm
- カスタマー登録は下記のホームページからも行えます。
  https://reg.nikon-image.com/

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB6H01(10)
6MA21810--